

高齢者や障がい者を大切に  
する共生の里グループ

〒569-0065  
高槻市城西町7番11号  
撰津ビル201号  
Tel. 072-604-4291

- [発行]  
◆デイサービスセンター共生の里  
◆共生の里・成合デイサービス  
◆グループホーム共生の里  
◆共生の里訪問看護ステーション  
◆なずなケアプランセンター  
◆共生の里ヘルパーステーション  
◆有料老人ホーム共生の里

2024年  
3  
月号



## 性分化「疾患」との共生

性分化「疾患」（最近では「疾患」より「体の性の様々な発達」と言う）について学習した。お腹にいる胎児は、初期は女性だという。なのに、男性が生まれるのは、女性胎児に遺伝子XYの男性ホルモンが働きかけ、女性胎児に精巣、生殖器などを形成して男性に変化して生まれるからだ。しかし、男性ホルモンが働きかけても部分的にしか反応しない場合などは、女性の要素をもったまま生まれることになる。他にも、遺伝子や性などの非定型的な体質による性分化「疾患」もあり、オランダでは、人口の0.5%いると言う。日本に当てはめると60万人になる。これまで、こうした人々を「女性でもない、男性でもない」あるいは「両性具有」などと呼んできた。しかし、当事者は男性または女性の性を自認している人が多く、こうした表現は不適切で、永年、当事者たちを苦しめてきた。加えて、今でも、性分化「疾患」の人たちの性器を写真に撮って、標本として展示している学者がいると言うから、差別の根は深い。私たちは、まず、性分化「疾患」のことを知り、差別ではなく、当事者たちと共生する道を歩むようにしたい。



<デイの楽しみ>